

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第35号

2013年4月12日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 DC会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

安倍政権の賃金・雇用破壊にストと10万筆署名で反撃を

6・9 シビックホール 全国集会へ

解雇撤回・JR復帰署名
8114筆
(4月10日現在)



解雇撤回・JR復帰へ10万筆署名
外注化阻止・非正規職撤廃

すべての人々の課題として

呼びかけ人・弁護士 鈴木達夫

「飢えて死ぬ」と言い放つ
資本と権力

「雇用と安全——動労千葉は、昨秋の外注化阻止決戦の勝利のうえに、新たな挑戦を開始

している。今この時代の労働組合として当然といえるは当然の取り組みである。しかし、同時に命脈尽きた資本主義との衝突が不可避の闘いである。
「解雇の自由」をついに政府が公然と唱え、賃下げ・首切り・非正規職化、生活保護の切り下げ、TPP・消費税増税、改憲と原発再稼働。もはや敵も「貧乏を我慢せよ」などという「甘い」ことは言わない。円安と投機バブルで浮かれる大資本と銀

行は、自分らが生き延びるために、労働者人民に「飢えて死ぬ」と言っているのだ。この暴政に怒りで身を震わせない人民がいるだろうか。

中曽根「国労をつぶし総評を解体して、新しい憲法を床の間に飾る」

およそ200年前、たしかに似たような時代があった。15時間を超える労働日、女性と児童の深夜強労働、劣悪な住居と汚染大気の下で、人民の寿命は目に見えて短くなっていった。しかし、「労働者は人間だ！」。団結を武器に決起し、工場法など労働規制を資本に強制し、生き抜いた。労働組合運動のこの歴史的な獲得物を、レーガン・サッチャー・中曽根以来の新しい自由主義攻撃はすべて奪い破壊する。

国鉄分割・民営化と1047名の解雇は、日本の労働運動と戦後史全体に対するかつてない大攻撃であった。「国労をつぶし総評を解体して、新しい憲法を床の間に飾る」と言い放った

中曽根の言がすべてを語っている。この1ヶ月の署名運動で東京高裁の大反動を阻もう

東京地裁の昨年6・29判決で、その許しがたい攻撃の一角が暴かれた。別件東京高裁・小玉忠憲さん(秋田闘争団)解雇撤回裁判の場で、JR東日本は「6・29判決は間違っている」と叫んだほどである。動労千葉として全国1047名闘争団の人生をかけた25年間の闘いが、「採用名簿不記載は不当労働行為」と言わせたのだ。そうであるからには、絶対に金銭で済まされることではない。法的にも「原職復帰」こそが唯一正当な結論である。

東京高裁は、きたる5月8日の第3回で裁判を打ち切ろうとしている。25年間にわたり日本国家と総資本が全力で推進してきた労働運動つぶし、その中心である1047名解雇に対する責任追及はこれからののだ。福島第一原発事故と同じく、犯罪的行為の責任はあいまいであっ

いまやJR東日本は、新自由主義攻撃の先頭に立っている。それを真つら迎え撃った動労総連合の昨年10・1外注化粉砕のたたかいは、総非正規職化の嵐にさらされる6000万日本労働者階級の心を揺るがした。怒りが蓄積する階級深部の空気が変わった。まさに「蹴破るべき扉」のありかとその主体が見えてきた。

外注化が必然とする偽装請負は、労働を寸断し、もって安全運転を破壊する。資本主義の骨

国鉄1047名解雇撤回！ 外注化阻止！
賃金・雇用破壊にストライキで反撃を！
国鉄闘争全国運動6・9全国集会
(日時) 6月9日(日) 午後1時(正午開場)
(場所) 東京・文京シビックホール
(呼びかけ) 国鉄闘争全国運動

てはならない。資本と権力は必ず居直り再犯を繰り返さず。その行方がこの1ヶ月の10万筆署名にかかっている。

「運転保安」は社会全体の生死の問題

去る2月27日の出向無効確認の集団訴訟第1回では、受託会社で36協定無視がまかり通っても、「それはJRとは無関係」とJR代理人はうそをついた。雇用も安全も捨て去った外注化の本性がここにある。

「お前ら勝手に死ぬ」と、資本主義が正面から言い切る時代に突入している。この屈辱をそそぐ反転攻勢だ。最近1週間できえ、キプロス・ギリシャ・イタリア・フランス(ー)・中国・韓国の労働者人民の「生きさせろ」のストライキとデモが繰り返りひらげられている。

これに心える春闘・メーデーのただ中で、10万署名達成から6・9大集会へ。

動労総連合 3月スト貫徹

外注化粉砕へ新たな闘いへ

動労千葉は第2波となる14、17日の連続ストライキを貫徹しました。昨年10月1日の外注化強行に対して、動労千葉は新たな闘いに踏み出しました。外注化による安全・雇用破壊の矛盾を突いて闘う、新たな時代の反合理化・運転保安闘争を職場からつくり上げる闘いです。14日夕刻のスト総決起集会には300人以上が集まり、「闘

えは元気になる。重要なのはストライキを出発点とした職場での闘いだ。ストをやりぬき明るく元気に管理者と闘う」との青年部の発言が印象的でした。さらに動労千葉は16日、久留里線ワンマン化反対の木更津行動を行い、約150人の組合員が木更津運輸区への抗議行動を行いました。

3月25日には福島第一原発事故以来、半年間、広野駅(福島県)に放置され、放射能で汚染された車両にかかわる一切の作業・被曝労働の強制を絶対に許さないためのストに立ち上がりました。

動労西日本は15、16日、JR山陽線五日市駅やJR広島印刷事業所などでストに突入しました。3月25日には、外注会社レールテック(大阪)において春闘ストライキを闘いました。

公務員の7・8%賃下げは すべての労働者への攻撃だ

4・26スト&5・1メーデーへ

3月29日、地方公務員の7・8%賃下げ、一時金の削減が決定されました。昨年末には国家公務員の退職金の400万円減額が決定され、地方公務員も同じくカットされようとしています。数百万人の自治体労働者が、国家の号令で一斉に大幅賃下げされる。前代未聞の巨大な賃金破壊です。

財界や安倍政権の狙いはハッキリしています。こんな賃下げを許せば、次は数千万の労働者の賃金が破壊されることは間違いないです。「公務員の賃下げ阻止」は、すべての労働者の未来をかけた問題です。

これに対して、自治労が4月26日に最大2時間の全国スト方針を決定しました。私たちは4・26全国ストを断固支持します。

この10年で労働者の平均賃金は10%減少しました。安倍政権のインフレ政策と消費税増税によって4年後には10%もの物価上昇になるとの試算もあります。賃下げは本当に生きていけない現実を膨大に生み出しています。この賃下げに対する自治体

5月1日メーデー総行動

- 賃金削減絶対反対！ 国鉄分割・民営化破壊のツケを労働者に転嫁するな！ JR貨物本社行動（正午より新宿駅近くのJR貨物本社に対する抗議行動）
- 大幅賃下げ・首切り自由化にストで反撃を！ 民営化・外注化・非正規化と闘う労働運動を5・1メーデー新宿デモ（14時に新宿中央公園に集合、14時30分デモ出発）
- 15時30分より新宿文化センター（新宿6-14-1）で集会

JR九州弾劾の街頭宣伝

国労小倉闘争団 羽廣憲

国鉄分割・民営化から26年目の4月1日、国鉄全国運動・九州主催でJR弾劾闘争を行いました。

阪急百貨店が駅ビルとして新装されたJR博多駅の博多口前の歩道に陣取って、12時すぎから街頭宣伝を開始しました。九州電力前の金曜日行動の中心を担っている方や長崎からも仲間が参加してくれました。NAZ E N・福岡と百万人署名福岡県連絡会、ス労自主、レイバークニオン、福岡合同労組の仲間も参加してくれました。

JR体制を徹底的に弾劾し、「今の世の中は絶対おかしい。変えなければ殺される。青年には将来がまったく見えない。明日の生活がどうなるかが日常的に繰り返されているような、人として生きられないこんな社会は変えるしかない」「どうやって変えるのか。労働組合に加入し、労働者の怒りを結集させて資本と闘い、同時に社会の矛盾と正面から向き合っていく」と訴えました。

同時に高裁署名にも取り組



宮城盛光さんの音頭で団結ガンパロー（3月17日 沖縄）



み、約50分の全行動で69筆が集まりました。平日ということもあって通行人は思ったよりも少なくて、約50分の全行動で69筆が集まりました。平日ということもあって通行人は思ったよりも少なく最初は心配していましたが、私たちの訴えと行動が受け入れられた現れか、次々と署名に応じてくれました。

また、特徴的な事は中学生が署名を進んでしてくれたことです。今までにはなかったことで、おそらく家族や身近な人に

解雇者がいて他人事ではないと思っただけではないかと感じました。また、JR九州の契約社員も制服を着ていたのとお願いますと1人だけでしたが署名に応じてくれました。本日に時代が変わったと実感しました。有期雇用の契約社員でした。

今回の宣伝行動にはJRの管理者や職員がほとんど出てきていないことが今までと違うところです。今までは執拗に張り付いていましたが、今回は30分おきくらいに出てくる位だったので拍子抜けの感があり、逆にこっちが何かあったのか心配をしてみようという対応でした。

全国運動の事務局やNAZE N福岡の事務局、そして時間休を取って参加してくれた労組交流センター自治労部会の仲間が発言に立ちました。フクシマの現実と向き合い、フクシマと団

沖縄でも署名運動を広げる

全国運動・沖縄が総会を開催

国鉄闘争全国運動・沖縄の第3回総会が3月17日に那覇市内で開催されました。

呼びかけ人の一人である金城幸男さんが司会をつとめ、同じく呼びかけ人の崎浜秀俊さんが主催者あいさつを行いました。

崎浜さんは、「昨年6月29日に東京地裁で出された動労千葉の1047名解雇撤回を求める鉄建公団訴訟で、国鉄関連裁判では初めて『解雇は不当労働行為である』と認定されました。不当労働行為であったから解雇撤回は当然で、直ちに原職に復帰させるべきであるはずが、結

論は『解雇はやむなし』とされました。まったく矛盾しています。何とんでも『解雇撤回・原職復帰』を勝ち取ることを東京高裁で実現したいということ。『解雇撤回・JR復帰を求める東京高等裁判所宛の署名』運動が広がっています。これを沖縄でも全力で取り組んでいきましょう」と述べました。

さらに「安倍政権は沖縄県民の心を踏みにじり、最も屈辱的なことは4・28の『沖縄の屈辱の日』を『主権回復の日』として祝福の日に置き換えるようとしている。無知、無謀な政権を放

結して反原発、がれき焼却阻止の闘いが前進して運動が進展していること、そして私たちと一緒に闘おうと力強く訴えられました。闘わない労働組合を闘う労働組合に変革することが求められているのです。

短時間ではありましたが、時代にピッタリ合ってスッキリした今年のJR弾劾行動でした。

博多駅から引き上げるときに右翼の街宣車を通ったのですが、街宣車に貼っていたスローガンにびびりました。「労働弱者を救済対象に」「資本の横暴をゆるすな」という内容で市内を走り回っていたのです。

行動終了後、レイバークニオン福岡の事務所前にある山王公園においてNAZEN福岡主催の花見に流れ込みました。何十年ぶりの花見でした。

自由主義と闘う労働者階級の結核軸となる闘いです。国鉄闘争は国際連帯闘争そのものだ」と訴えました。さらに2013年を「沖縄闘争の新たな課題として闘おう」と呼びかけました。

議案の提起を受けて、へ動労千葉を支援する基地労働者の会へへ動労千葉を支援する会・沖縄中部の会へへ動労千葉を支援する会・電通沖縄からそれぞれ闘いの報告と決意が語られました。沖縄5・15闘争を国際連帯闘争として闘おう」という5・15アピールがうるまユニオン富田晋さんから発せられ、最後に呼びかけ人の宮城盛光さんの団結ガンパローで締めくくりました。